



# Sustainability Report 2025

東海興業 サステナビリティレポート

**TOKAI KOGYO**



私たちはグローバルな競争力の強化と  
持続的な発展を目指すとともに  
社会へより一層の貢献を  
果たしていきます

現在、自動車産業は電動化や脱炭素化、地域市場の多様化といった大きな転換点を迎えており、当社はこれを新たな成長の好機と捉えています。当社はさらなる飛躍のため2026年よりグループ方針として中期経営計画「TKG2030」を策定し、新たな成長に向けたステップを踏み、目標達成のための積極的な活動を推進していきます。新方針では、開発イノベーションと自動化・省人化による共創を通じて新たな顧客への拡販を達成し、グローバルでの競争力強化と持続的な発展を戦略の中核としています。

また、当社は「持続可能な社会の実現」と「企業の持続的成長」の両立を目指し、サステナビリティを経営の重点に置いています。気候変動や資源制約、社会的格差など、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。こうした中で企業が果たすべき役割は、単なる経済的価値の創出にとどまらず、環境・社会への責任を果たしながら次世代により良い未来を引き継ぐことにあると考えています。

今回のレポートでは10本の矢を中心とするグループ関係会社について紹介をしており、それぞれの関係会社が特徴を生かし協調することでこれまで発展を遂げてきました。私たちはこれからもグループ一丸となって経営課題だけでなく社会課題に対しても挑戦し、社会へより一層の貢献を果たしていきます。

代表取締役社長兼CEO  
木村 友一



## 企業方針

### ● 社是

わが社は研究と創造とにはげみ よい製品によって  
社会に貢献し社業のたゆみない進展をめざす

開発: つねに時流に先んじアイデアと時間を尊重する

和親: 誠実と信頼により明朗と協調とをはかる

感謝: 反省を進取の糧(かて)とし勤労のよろこびに生きる

### ● サステナビリティ方針

当社は、社是にもとづきサステナビリティ方針を制定しました。

1. 国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観をもって健全な企業活動を展開していきます。
2. 事業活動を通じて社会からの信頼と期待に応えることにより、各国・各地域の発展ならびに持続可能な社会の実現に貢献します。
3. ステークホルダーの期待に応える事業活動を実践するにあたり、企業行動の規範となるべき「サステナビリティ方針」を定め、経済・環境・社会との調和を保ち、共存共栄を実現します。

### ● 六方よしのサステナブル経営

当社は、近江商人の「三方よし」の信条を基礎として、さらに3つの「よし」を加えた「六方よし」すなわち売り手・買い手・世間・作り手・地球・未来の六方をサステナブル経営として体現しています。

- ①「売り手」が商品の価値に見合う利益を永続的に確保する
- ②「買い手」にとって満足度の高い商品やサービスを提供する
- ③事業活動を通じて社会貢献を行い地域や「世間」の発展に寄与する
- ④サプライチェーンの「作り手」との信頼性と健全な関係を構築する
- ⑤環境保全を軸として「地球」が健全な状態を保つ
- ⑥将来世代に負の遺産を残さない「未来」をつくる



## 編集方針

当社は2017年にはじめて「CSR報告書」を発行、社会的責任に関わる情報を発信し、さまざまなステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションをはかり企業の説明責任、透明性をはたすようつとめてきました。

2021年から「サステナビリティレポート」として当社の活動をESGに分類して、ステークホルダーのみなさまの期待に応えるため、ESGデータを網羅的にまとめて発行を継続しています。

#### ● 対象期間

2024年度(2024年4月～2025年3月)を中心として、マネジメント活動に大きな進捗がある事業は2025年11月までとしています。

ESGデータは2024年4月～2025年3月の期間としています。

#### ● 対象範囲

下記東海興業グループに属する11社を対象としています。

- ・東海興業ホールディングス(株) ・東海興業(株) ・化成工業(株) ・タカラ化成工業(株)
- ・(株)富士 ・成和工業(株) ・東海興業九州(株) ・アド(株) ・東海興業精機(株)
- ・(有)物流センター ・東亜ゴム工業(株)

#### ● 本レポートに関するお問合せ窓口

東海興業株式会社 サステナビリティ推進部

E-Mail:csr@tokaikogyo.co.jp

#### ● 参考にしたガイドライン

当社はGRI(グローバルレポーティングイニシアチブ)を参考に編集をいたしました。

GRI 200 経済	GRI 400 社会
調達慣行	雇用
腐敗防止	労使関係
反競争的行為	水と廃水
GRI 300 環境	労働安全衛生
原材料	研修と教育
エネルギー	ダイバーシティと機会均等
水と廃水	非差別
生物多様性	強制労働
大気への排出	人権アセスメント
排水および廃棄物	地域コミュニティ
環境コンプライアンス	顧客プライバシー
サプライヤーの環境面のアシスト	社会経済コンプライアンス

## INDEX

01 TOP MESSAGE

03 COMPANY PROFILE

05 特集1

東海興業グループの足跡と未来

「一筋の矢は折るべし、十筋の矢は折りがたし」

SOCIAL

11 「健康経営」と「働き方改革」で  
〈創造的な組織〉を実現

16 サステナブルなものづくりと調達活動

17 事業部の六方よしへの取り組み

19 文化・スポーツを通じた社会貢献

20 エンゲージメント

21 特集2

東海興業九州株式会社の設立

ENVIRONMENT

23 持続可能な社会をめざす環境対応

24 サステナブルな未来に貢献する当社の  
イノベーション

25 特集3

グループ企業のサステナブル経営

GOVERNANCE

27 持続可能な企業づくりを推進

29 SDGsと六方よし

30 ガイドライン

# COMPANY PROFILE

当社は無機・有機材の複合成形の専門メーカーとして、材料開発から製造、販売まで一貫した体制で、世界中のお客さまに満足と信頼を提供します。

## 会社概要

東海興業株式会社(TOKAI KOGYO CO.,LTD.)

愛知県大府市長根町四丁目1番地

TEL:0562-44-1500 FAX:0562-44-1590

資本金/3億135万円

設立/1947年3月31日

決算/3月

事業内容/自動車用樹脂・ゴム・シート部品、車載電子部品、建材用部品およびその関連商品の製造販売

## 従業員・売上推移

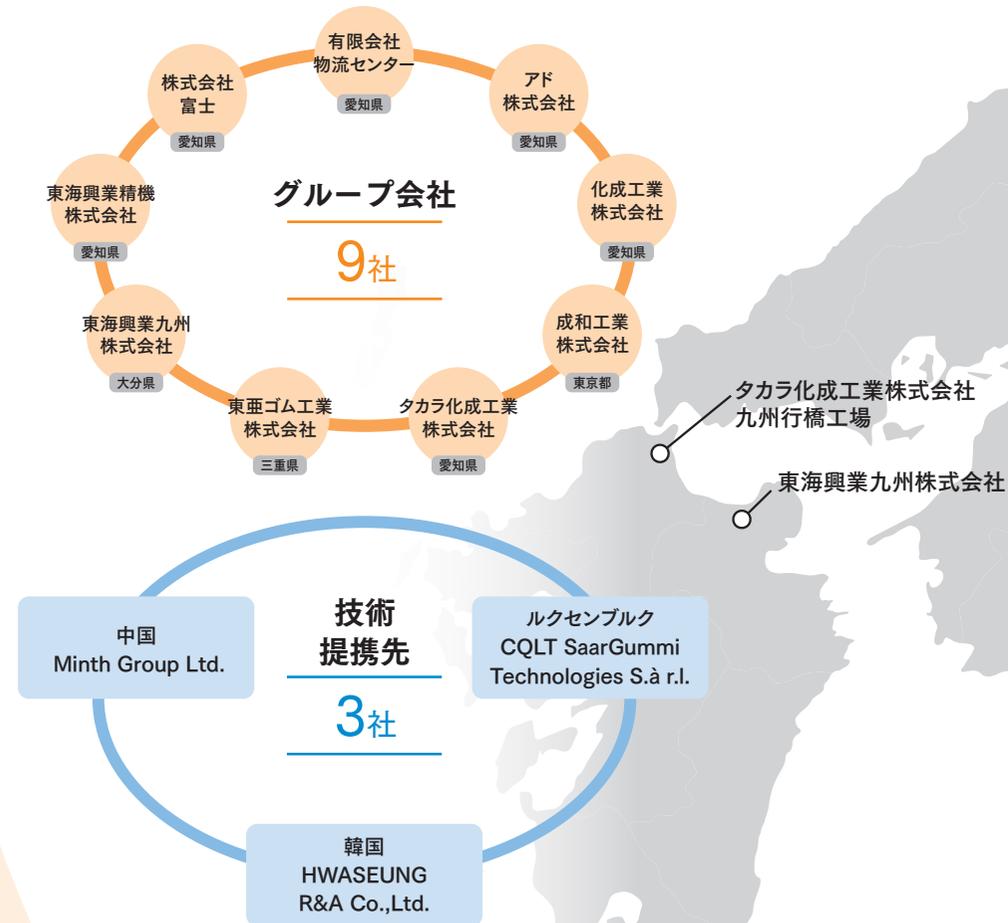


## 主要取引先

- トヨタ自動車株式会社
- トヨタ紡織株式会社
- いすゞ自動車株式会社
- 三菱自動車工業株式会社
- Astemo株式会社
- トヨタ車体株式会社
- スズキ株式会社
- 株式会社豊田自動織機
- 株式会社デンソー
- 株式会社LIXIL
- 本田技研工業株式会社
- ダイハツ工業株式会社
- 日産自動車株式会社
- 積水ハウス株式会社

[ 順不同 ]

## ネットワークでつなぐ生産体制



# 国内拠点

●: 本社/国内工場/営業所  
○: グループ会社

国内工場5カ所 国内営業所5カ所

グループ会社9社

下條工場



栃木営業所



タカラ化成工業株式会社  
北関東甘楽工場



成和工業株式会社

関東営業所

株式会社富士  
鈴鹿工場

大阪営業所

東亜ゴム工業株式会社

浜松営業所

本社/大府工場/本社営業所



化成工業株式会社

株式会社富士本社工場

アド株式会社

有限会社物流センター

東海興業精機株式会社

タカラ化成工業株式会社  
西尾本社工場

衣浦工場



高浜工場



高浜第2工場



# 海外拠点

海外7カ国



廣州東海敏孚汽車部件有限公司  
武漢東海敏実汽車零部件有限公司  
天津東海敏実汽車零部件有限公司  
清遠東海敏実汽車零部件有限公司  
滋栄技研貿易(上海)有限公司  
嘉興滋栄汽车配件有限公司  
(中国)



GREEN TOKAI CO., LTD.  
(アメリカ)



VIETNAM TOKAI CO.,LTD.  
(ベトナム)



TokaiKogyo de Mexico,  
S.A. de C.V.(メキシコ)



PTI RUBBER PRIVATE  
LIMITED(インド)



TOACS(THAILAND)CO.,LTD.  
TOKAI JIEI (ASIA) CO., LTD.  
JIEI (THAILAND) CO., LTD.  
TOKAI KOGYO SEIKI (THAILAND) CO.,LTD.(タイ)



PT.TOKAI TOYOTA  
AUTO BODY  
EXTRUSION(インドネシア)

東海興業グループの足跡と未来

# 「一筋の矢は折るべし、 十筋の矢は折りがたし」

## 持続可能な未来へ、「10本の矢」で挑む

当社は、戦後再生ゴムを利用したタイヤ製造を事業とした「東海タイヤ株式会社」を創設、その後生産品目を工業用ゴム・樹脂・ウレタンに拡充し社名を「東海興業株式会社」に改めました。

当社が掲げる社は「わが社は研究と創造とにはげみ、よい製品によって社会に貢献し社業のたゆまない進展を目指す」の理念の実現に向けグループ10社が強みと役割を活かし、団結することで様々な困難に立ち向かい、モビリティサプライヤーとしての地位を築き上げてきました。

さらに、この先の未来に向けグループ会社10社の力を束ねた「10本の矢」で、より強く、しなやかに持続可能な社会の実現に貢献します。

ひとすじ とすじ がた  
**【一筋の矢は折るべし十筋の矢は折りがたし】**とは  
 このことわざは、1本の矢は簡単に折ることができるが、10本では折るのは難しい、つまり、1人の力は弱くても、大勢が力を合わせれば強大な力を発揮できるということを意味しています。



会社



世界に羽ばたく  
グローバルサプライヤー

## 東海興業グループ

### 東海興業九州株式会社

〒879-0493  
大分県宇佐市大字上田2111番地の1  
自動車用樹脂製品の製造販売



### 株式会社富士

〒474-0001  
愛知県大府市北崎町井田132番地  
自動車用ゴム、樹脂、ウレタン製品の加工



### 化成工業株式会社

〒474-0011  
愛知県大府市横根町坊主山1の64  
自動車、建機、建材、土木用ゴムシール製品の製造販売



### タカラ化成工業株式会社

〒445-0011  
愛知県西尾市上羽角町風越6番地  
自動車用樹脂製品の製造販売



### 成和工業株式会社

〒132-0025  
東京都江戸川区松江2丁目11-17  
自動車、建材用樹脂製品の加工、製造販売



### 東海興業精機株式会社

〒474-0036  
愛知県大府市月見町3丁目115番地  
タイヤ製造機械装置、金型の製造販売



### 東亜ゴム工業株式会社

〒518-0609  
三重県名張市西田原413-1  
自動車、工業用ゴム製品の製造販売



### アド株式会社

〒474-0001  
愛知県大府市北崎町井田129番地  
自動車用品の企画、設計、製造販売



### 有限会社物流センター

〒474-0001  
愛知県大府市北崎町井田129番地  
配送センターの管理、運営



技術と信頼で築いた78年の軌跡

# 創業から現在 そして未来へ

時代の変化に立ち向かいながら、受け継いできた志と、磨き続けた技術。小さな一歩は、やがて多くの仲間とつながり、大きな力となった。過去に安住せず、未来に甘えず、進み続ける意志が、東海興業グループの原動力である。

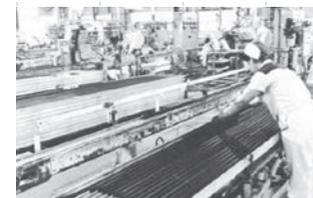


写真③ 東海興業



オートバイのグリップをゴム製から合成樹脂化の開発に成功しホンダに採用

写真④ タカラ化成工業



ホンダ向けゴムシール部品の生産開始 写真⑤ 化成工業

タカラ化成工業株式会社  
1962年 合成樹脂部品メーカー樹脂射出成形品生



1954年 成和工業設立(型物ゴム生産)



1947年 東海タイヤとして発足 写真① 東海興業

1954年 火災により全工場消失(10日で再建)

1955年 ソリッドゴム押出し生産開始  
トヨタ車体と取引開始

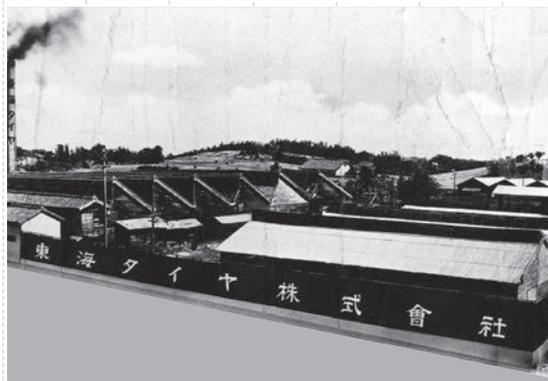
1963年 樹脂押出

1951年 東海興業に社名変更 写真② 東海興業  
型物ゴム生産開始 写真③ 東海興業

1958年 型スポンジ生産開始



1958年東海興業精機設立 1962年樹脂用金型、機械  
1960年 大府市長根町から大府市月見町に



写真① 東海興業



1950年頃の会社 写真② 東海興業



ゴム製品の品質を左右する混練工程において、配合物の均一分散により高品質な練り生地を生産

写真⑦ 東亜ゴム工業

1950

1960



大府ウレタン工場建設  
写真⑥ 東海興業



衣浦工場竣工式  
写真⑨ 東海興業



東海興業のゴム加工部門増強にともない、加工センターを大府市北崎町に設立  
写真⑩ 富士

**株式会社富士**

- 1988年 ゴム加工部門として加工センター設立 写真⑩ 富士

**化成工業株式会社**

- 1966年 化成工業設立 写真⑤ 化成工業

- 1978年 UHF連続加硫ライン導入
- 1981年 TI(複合押出)生産ライン導入

カーとして創業  
産開始(ホンダニューグリップ) 写真④ タカラ化成工業

- 1969年 岡崎市から西尾市に本社を移転

- 1986年 自動車部品ガラス一体射出成形製品生産開始

- 1967年 東海興業グループ参画(押出樹脂生産開始)

- 1988年 ホンダ向け内装ドアトリム生産開始

- 製品生産開始
- 1966年 本田技研工業と取引開始
  - 1967年 ウレタン発泡成形生産開始 写真⑥ 東海興業
  - 1970年 強化プラスチック製品生産開始 写真⑧ 東海興業
  - 1973年 衣浦工場操業開始 写真⑨ 東海興業

- 1982年 ウレタンHRF(高反発フォーム)生産開始
- 1985年 下條工場操業開始

- 1975年 自動車用サイドプロテクター生産開始

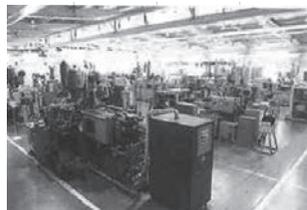
装置製造開始  
本社移転

- 1969年 タイヤモールドの製造開始
- 1972年 機械装置工場増設
- 1975年 攪拌装置製造開始

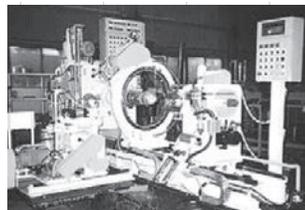
- 1982年 金型工場増設
- 1983年 自社設計によるタイヤ製造機械装置の開発 写真⑩ 東海興業精機

**東亜ゴム工業株式会社**

- 1967年 東亜ゴム工業設立(ゴム混練、型ゴム製品生産開始) 写真⑦ 東亜ゴム工業



強化プラスチック製品の生産  
写真⑧ 東海興業



タイヤ製造機械装置の開発により、改造・メンテナンス業務から自社での設計開発が実現した  
写真⑩ 東海興業精機



東海興業より出荷管理業務を独立化  
写真⑫ 物流センター

**アド株式会社**

- 1986年 アド設立(自動車用品事業の分離独立と共にデザイン部門を設立)

**有限会社物流センター**

- 1988年 物流センター設立 写真⑫ 物流センター

1970

1980

1990



ゴム注入材をリボン状にし、連続成形や材料ロスを減らす仕様開発  
写真⑬ 富士



ガスインジェクションで初のAピラーガーニッシュの2色成形を実現  
写真⑭ タカラ化成工業



国内、欧米自動車メーカー協力のもとスカッフプレート  
をハーネス式から電池式へ大転換  
写真⑮ アド



廃タイヤ



再生カーボン

廃タイヤから再生カーボンとして分離し、リサイクル利用することでGHG(温室効果ガス)を1/3に削減  
写真⑯ 化成工業

● 1989年 アルファー設立(富士の前身)

● 1997年 TPVガラスランチャネルの成形を開始

● 2004年 ゴム射出成形機を自社開発  
東浦パーツセンター操業開始  
● 2005年 藤江工場操業開始

● 2009年 東海興業ウレタン事業部加工・出荷請負開始

● 1989年 ロータリープレス・ゴム射出成型機の導入

● 1995年 地中に埋設する多孔管の耐震継手を開発

● 1998年 CAE解析導入により設計時荷重予測を行い信頼性向上

● 2005年 中国上海市に貿易会社を設立

● 2011年 中国浙江省嘉興市に生産

● 2013年 環境にや

● 1989年 塗装工場操業開始

● 1996年 CSE工法(ガラスダイレクト押出成形)生産開始

● 2005年 ガスインジェクションにおける2色成形技術の確立  
● 2008年 九州行橋工場操業開始

● 20

● 1992年 ガスインジェクション製品生産開始

● 1998年 塗装耐久性に優れるフィルムインサート成形開始

● 2008年 九州行橋工場操業開始

写真⑱ タカラ化成工業

● 1991年 いすゞ小型トラック向け押し出し樹脂・ゴムのシール部品生産開始

● 1991年 トヨタ自動車と取引開始

● 1996年 オールTPVガラスランチャネル生産開始

● 2004年 TPVコンパウンド生産開始

● 2014年 3

● 1992年 TVE(可変断面押出成形)生産開始

● 2001年 ネオテックス工法(通気膜一体成形)生産開始

● 2008年 高浜工場操業開始

● 2011年 特殊発泡TPVガラスランチャ

● 2007年 タイ拠点設立

● 1990年 生産力増強を目的に三重県名張市に全面移転 1000t大型ゴムプレス製品生産開始

● 1992年 500tプレス成型品の生産開始

● 1996年 刈谷センター竣工

● 2006年 ホンダアクセス 優良感謝賞初受賞(以降4回受賞)

● 2011年 LEDスカッフプレート販売開

● 1989年 有限会社物流センターとして創業開始

● 2011年 関東商事岩手 TMEJバック

1990

2000

2010



木材より耐久性に優れた木目調押出製品を東海興業、アド、成和工業で開発し、成和工業で量産化に成功  
写真⑰ 成和工業

東海興業九州株式会社  
2024年東海興業九州設立 (押出樹脂生産移管)

東海興業九州(株)

2018年 アルファーの富士吸収合併に伴い富士へ社名変更

(株)富士

工場を設立  
さしいゴム部品生産ラインの開発(愛知環境賞優秀賞受賞)

2022年 タイ現地の増産に対応のため新工場設立

2024年 再生カーボンを用いたゴム製品開発 写真⑱ 化成工業

化成工業(株)

15年 車載電子部品の生産開始

2018年 北関東甘楽工場操業開始

タカラ化成工業(株)

2025年 木目調押し製品(JANEE WOOD)生産開始 写真⑲ 成和工業

成和工業(株)

0年補償の建築用外装目地生産開始

2019年 高浜第2工場操業開始

東海興業(株)

チャンネル生産開始

2020年「あいち女性輝きカンパニー」認証取得

東海興業精機(株)

2019年 マツダ用品取引先評価特別賞受賞  
2023年 船山工場稼働開始

2025年 C型コネクタ用アロマディフューザーを開発・販売開始

東亜ゴム工業(株)

アド(株)

ドア納入代行実施

(有)物流センター

2020

2025

TKG2030

東海興業グループ  
中期経営ビジョン

世界に羽ばたく  
グローバル  
サプライヤーへの  
ステップ

xEV\*に対応し技術革新による魅力ある製品ラインナップの強化・拡大に挑戦

※電動車全般を示す総称

開発イノベーション

- ・電動化
- ・意匠
- ・静音
- ・防振

自動化/省人化

共創

TKG2035

真のグローバルサプライヤーへ  
大きく飛躍

## 【従業員とともにサステナブル企業をめざす職場づくり】

従業員に対する「健康増進の積極的な支援」と「生きがいを感じられる職場の提供」によりサステナブルな組織の実現に向けて活動を強化しています。

## 「健康経営」



## 「働き方改革」



会社が従業員へ働きがいを感じられる職場を提供することで、従業員のやりがいや充実感によるパフォーマンス向上を目指しています。

## 健康経営方針と健康経営推進体制

### ● 健康経営方針

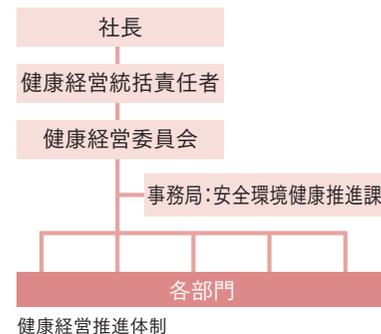
『経営理念』を実現して、商品の開発による住みよい地球づくりに貢献し品質至上主義で世界のお客さまに満足を提供するには、従業員自身が健康であることが不可欠であり、健康でなければお客さまの信頼を得ることができません。

当社は、会社の成長を支える従業員とその家族の心身の健康を重要な経営資源のひとつと捉え、健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、従業員がいきいきと豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社をめざします。

### ● 健康経営推進体制

当社は健康経営を推進するにあたり、社長をTOPとした体制を整備しています。

サステナビリティ推進部の担当役員が統括責任者となり、委員会により各部門の実行責任者が活動を後押ししています。



### ● 健康経営優良法人 2025 (大規模法人) 認定

当社は健康経営に取り組む優良企業として、経済産業省・日本健康会議から「健康経営優良法人2025(大規模法人)」に5年連続して認定されました。

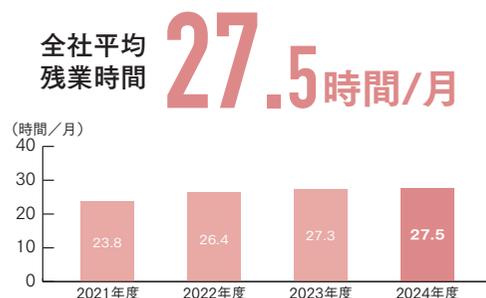
## ワークバランス

仕事と家庭の両立をはかり、従業員のQOL(Quality Of Life:生活の質)向上に貢献



### 》 労働時間の管理

法令で定められた限度時間より少ない時間外労働を目標とし、IT化の推進や工程改善を行っています。また、労使間で共有し管理の徹底をはかることで総労働時間の削減に取り組んでいます。



### 》 有給休暇取得の奨励

業務の効率化をはかり、計画的に休暇を取りやすい環境整備に取り組むとともに、有給休暇取得状況を常に把握、フォローアップすることで取得を奨励しています。



### 》 育児と勤務の両立

育児休業取得後も小学校3年生進級までは時間短縮勤務やフレックス勤務が可能です。育児休業を取得しやすい環境の醸成により、男性の育児休業も増加しており、仕事と育児の両立支援を推進しています。

#### 時短勤務

**小学3年生進級まで選択可能**

#### 制度利用者

育児休業…男性**4名** 女性**9名**

時短勤務…**3名**

フレックス勤務…**3名**

### 》 特別有給休暇制度

当社では法令で定められた年次有給休暇に加え、失効予定の有給日数を最大20日まで付与する特別有給休暇制度を整備しています。従業員本人の疾病や同居家族の介護が必要な場合に当制度を利用することが可能です。

年次有給休暇日数 **最大40日**  
+  
特別有給休暇日数 **最大20日**

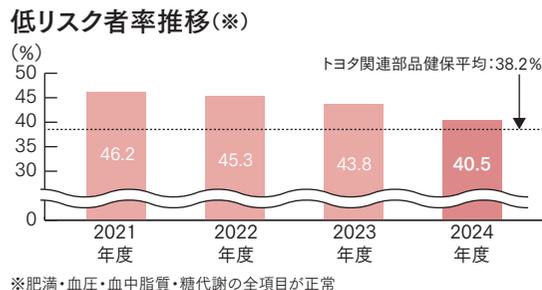
## 健康リテラシー向上

健康課題に対して自発的な行動変容を促す機会を提供



### 健康診断

従業員の健康維持のため、年1回の定期健康診断と年2回の特殊健康診断を実施しています。また診断結果は、当社が加盟するトヨタ関連部品健康保険組合の平均値を超えています。



### ヘルスマチャレンジ

当社は毎年、9月～11月までの3ヶ月間を健康づくりキャンペーンとして「ヘルスマチャレンジ」を展開しています。運動習慣・食事改善・歯のケアに対するアクションで従業員の健康維持増進をはかっています。



ヘルスマチャレンジカード

## 生産性の向上

従業員が自らの能力を発揮できる環境を整備



### 職場風土の向上

風通しの良い職場をめざして、管理職に「何でも言いあえる風土づくり」宣言カードを配布しています。上司はバッドニュースファーストの実践や部下の報連相に耳を傾けるなどコミュニケーションの向上をはかっています。



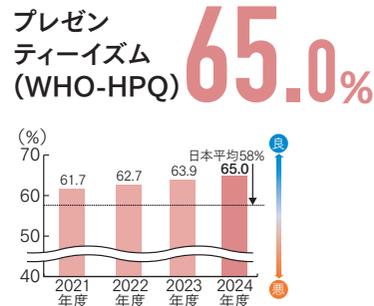
宣言カード



働きやすい職場 5ヶ条

### 生産性向上の指標評価

当社では、従業員の生産性向上の指標評価をWHO-HPQを用いて測定しています。風通しの良い職場、ハラスメント防止などの活動に加えストレスチェックによる課題の対応で心身ともに健康で働ける環境づくりに取り組んでおりスコアは年々向上しています。



### ストレスチェックとセルフケア

メンタルヘルス不調の未然防止や職場環境の改善を目的として、年1回の実施をしています。実施結果に基づき、産業医や外部カウンセラーによるフォローケア面談等を実施し、心身の健康をサポートしています。

ストレスチェック受検率

**98.4%**

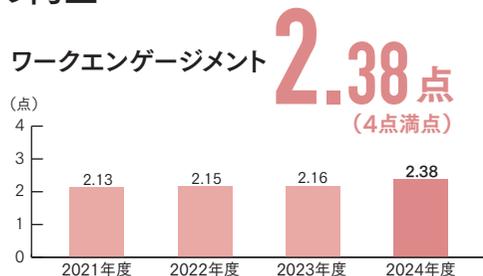
## ワークエンゲージメント

従業員が自発的にやりがいを持って仕事をするための職場風土の醸成



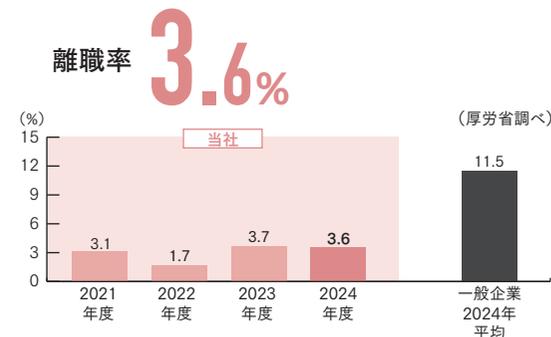
### ワークエンゲージメントの向上

当社は5年毎に、従業員に対して37項目の満足度アンケートを実施し課題解決に取り組んでいます。その結果、毎年実施しているストレスチェックによる指標であるワークエンゲージメントが高い数値を維持し、働く意欲・活力が向上しています。



### 熱意・活力の向上

従業員に対し、職場や人間関係についてのアンケート調査を行うなど、働きやすい職場環境をめざすべく、様々な取り組みを実施し、活力に満ちた職場を提供しています。



# 人材育成

従業員のチャレンジ精神の尊重と能力の向上



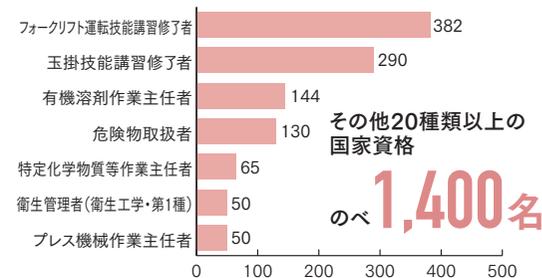
## Skill Up Café プラン

当社教育プラン「Skill Up Caféプラン」は、「階層別教育」と「技能別教育」で構成されています。「技能別教育」は、従業員の自己啓発・能力開発を目的とし、自らが学びたい教育を選択できます。



## 安全を支える人材育成

社内で働く全ての従業員に対して、それぞれの階層、役割等に応じた必要な教育を計画的・継続的に行なう必要があります。当社は、法令遵守、労働災害防止、スキルアップを目的に、各種免許の取得、技能講習・特別教育の受講を推奨しています。



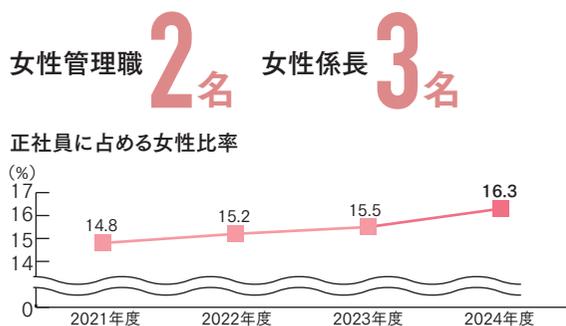
# ダイバーシティ

多様な人材が適材適所で自身の能力を発揮できる職場を推進



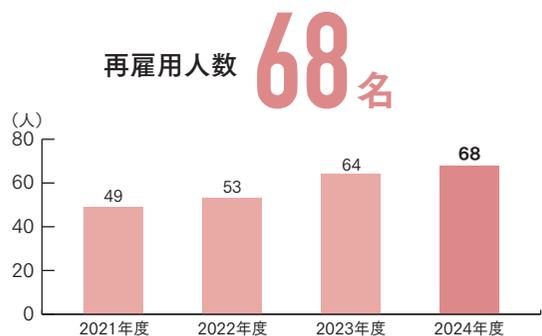
## 女性の活躍

活躍できる職場の拡大をはかることで、正社員に占める女性比率は年々あがっています。今後も更に活躍の場を増やすとともに、管理監督者の拡充に向け、教育、環境づくりに取り組んでいきます。



## シニア層の活躍

長年培ってきた経験や知識、能力は貴重な財産であり、後世への伝承が必要不可欠です。年々増加している経験豊富なシニア層の方にやりがいを持って働いてもらえるような職場環境や制度づくりを進めています。



## 障がい者が活躍する機会の拡充

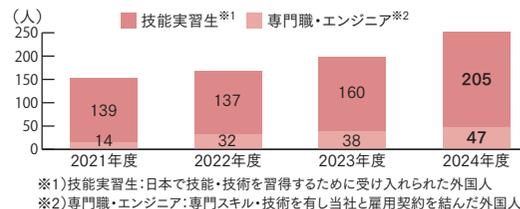
社内での活躍する機会の拡充とあわせて、障がい者雇用支援を行う企業と提携し農場を運営しています。無農薬で栽培した野菜を食堂で使用し、良質な食材の提供と社会貢献を両立しています。



農場での作業風景

## 国境を越えた人材の採用と育成

東海興業のものづくりをグローバル展開するために国籍を問わず優秀な人材を積極的に採用しています。現場作業だけでなく、技術者として国内で研鑽を積み、将来的には海外拠点でも活躍できる人材育成に注力しています。



※1) 技能実習生: 日本で技能・技術を習得するために受け入れられた外国人  
 ※2) 専門職・エンジニア: 専門スキル・技術を有し当社と雇用契約を結んだ外国人

専門職・**47名**  
 エンジニア

(海外勤務者3名 / 国内勤務者44名)



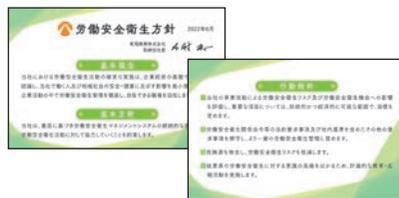
## 労働安全衛生

すべての従業員が安心安全で業務に従事できる環境を整備



### 安全第一の職場づくり

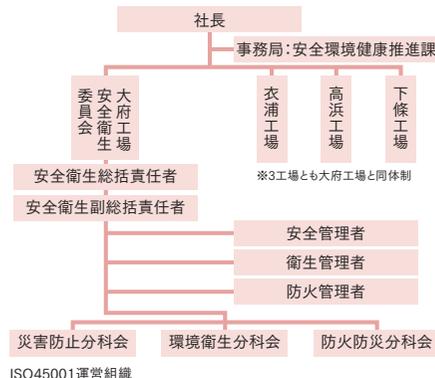
当社は安全衛生活動のPDCAサイクルを確立しISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)を認証取得しています。また、当社は個人の安全感の向上と組織での職場観察の強化を目的にTAES(Tokai Anzen Eisei Standard)規定を策定し作業ルールを遵守する人材育成に注力しています。



労働安全衛生方針カード

### ISO45001運営組織

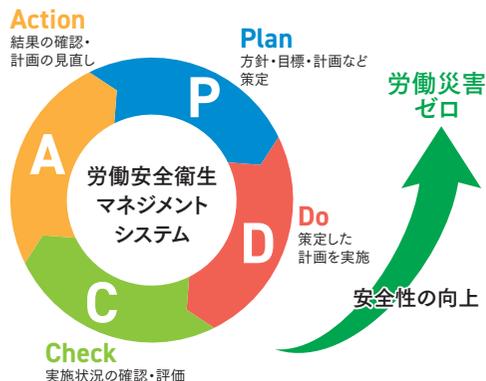
当社は、社長が総合安全衛生責任者となり、各工場に安全衛生委員会を設立しています。安全衛生委員会では安全・衛生・防火管理者のもと分科会活動を展開し労働環境の整備を推進しています。



ISO45001運営組織

### ISO45001活動プロセス

当社では社長が安全・衛生に関する方針を示し、その方針を達成するための目標と計画を立案、実践することで、職場の安全性の向上をはかっています。計画の進捗フォローを内部監査、年度末には活動総括の社長報告を行うことでPDCAサイクルを回し安全な職場づくりをめざしています。



### 労働災害撲滅に向けた活動

「災害はゼロにできる」という強い意志のもと、当社はSTOP6<sup>®</sup>を重点的に活動しています。中でも車両、機械の巻き込まれを危険源とした災害は大きなけがになる可能性があるためリスクアセスメントの強化によりリスク低減に取り組んでいます。その結果、当社は重大・準重大災害は無災害を継続しています。

※STOP6:過去の災害から比率の高い危険事象(挟まれ巻き込まれ・重量物・転倒・車両・感電・火傷)の6つを重点に未然防止活動を実施すること

2018年以降、7年間  
重大・準重大災害(※)

**ゼロ**件  
(2025年11月現在)

※重大・準重大災害:  
死亡や重度な後遺症が残る災害

### 安全体感道場

2025年度よりVR災害体感機<sup>®</sup>を導入しました。

危険な災害事象を安全に疑似体感することで従業員ひとりひとりの安全意識を高め、重大・準重大災害ゼロの継続に寄与しています。



※VR災害体感機:五感を疑似再現するVR(バーチャルリアリティ)技術を取り込んだ装置。安全な環境で危険な状況を96%再現でき、安全感を高める教育として効果的。



VR災害体感教育風景

私の  
六方よし宣言

売り手よし

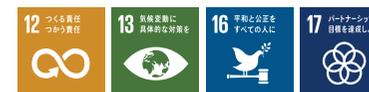
VR体感は、危険感受性が高め、安全意識を向上させる効果的な方法であると考えています。五感で体感していたとき、労働災害ゼロを目指して全社展開していきます。



サステナビリティ推進部 谷津 央祐さん

## 【仕入先さまへの取り組み】

当社はオープンでフェアな取引を行い、それによって仕入先さまとの共存共栄をはかるとともに、環境に配慮したサステナブルな調達活動を仕入先さまとパートナーシップ強化を行い実践しております。



## サプライチェーン

持続可能な調達活動に向けて、公正な取引



### 》 環境に配慮したサステナブルな調達活動

仕入先さまと環境負荷物質の少ない資材調達を『グリーン購買ガイドライン』を通し、推進してきました。ガイドラインには、環境負荷物質の規制に関する法令に基づく調査を行うことを盛り込み、環境に配慮しております。



### 》 購入品の再利用推進

当社は製品輸送時の通箱の再利用を推進しております。通箱の規格化、共有化をはかることで製品が新旧入れ替わる時に仕入先さまの協力のもと補修をおこない資源の有効活用を行っています。



再利用  
(2024年度) **22.0%**

### 》 電子化推進 見積書のデータ化と間接購買査定の革新

AIで膨大な見積書を全文検索できるようにし、間接材購買の査定を高度化。業務効率と透明性を向上させ、持続可能な調達を実現します。



### 》 仕入先さまとのパートナーシップ強化

#### 【パートナーシップ構築宣言】

当社では、政府の取り組みに賛同し『パートナーシップ構築宣言』を公表しております。仕入先さまとガイドラインに基づき、共同でロス低減活動を実施するなど、環境に配慮した取り組みを実施しております。



#### 【仕入先さまとの連携】

当社では各事業部の生産管理部門主催で定期的に仕入先さまと一緒に生産や品質に関わる連絡会を行っています。品質管理の優秀な仕入先さまへは、毎年『品質保証委員会』にて表彰しております。



協力工場連絡会風景

私の  
六方よし宣言

作り手よし

仕入先様と真摯に意見を交わし、相互に満足と信頼のある取引と継続します。共に価値ある関係を築き、社会貢献と将来世代への責任を果たせるよう努めます。



購買部 山口 恵さん

当社は国内で3つの事業部が5拠点で生産活動を行っています。各事業部がその特徴にあわせ、当社が目標とする「六方よしのサステナブル経営<sup>※1</sup>」を積極的に推進しています。

※1:「六方よしのサステナブル経営」の詳細については、企業方針(P2)参照



## ウレタン事業部

**買い手よし** ▶▶ 配合内製の強みを生かした材料開発

お客さまからの高度な要求の実現に向け材料メーカー協力のもと、特殊材料を社内開発しています。様々なシーンでユーザーに喜ばれる製品の提供が可能となっています。

座面前方 高  
一般材料 当社開発特殊材料  
座面後方 低  
体圧負荷

**未来よし** ▶▶ サステナブルな事業形態に向けて

輸送効率の向上や省エネ設備の導入による脱炭素化、水の効率利用、廃棄ロスの削減やリサイクルなど、将来世代に負の遺産を残さない事業形態となるよう常にカイゼンに取り組んでいます。

廃棄ロス削減活動(三現主義)

私の六方よし宣言 地球よし

お客様の要求に応えつつ、製造工程での廃棄物削減とリサイクル技術の追求により、地球環境への負荷を削減します。高品質なウレタンシートを通じて持続可能な社会に貢献します。

ウレタン事業部 佐野 僚一さん

## シール事業部(ゴム)

**買い手よし** ▶▶ 自動検査装置導入による品質管理向上

AIカメラを活用した自動検査装置を積極的に導入しています。AIと画像処理技術を組み合わせることで製品の外観検査の無人化と効率アップ、および品質管理の向上を実現しています。

AIカメラを活用した自動検査装置

**地球よし** ▶▶ 新技術開発によるロス削減

インサート芯金入りシール部品の押出インライン切断技術を開発し実用化に成功しました。これにより正寸切断が安定し工程内ロスや端材ロスが大きく削減しました。

従来 ①押出機でのカット ②手加工での正寸カット  
開発 ①押出機でのカット(インライン正寸カット) メリット  
・手加工の廃止  
・カットロスの削減

私の六方よし宣言 買い手よし

新規製品や設計変更品などの生産準備状況の管理を行っています。関連部署と連携がとれた進捗確認を実施し、スムーズな開発・量産開始を目指して頑張ります。

シール事業部(ゴム) 吉川 羽音さん

## シール事業部(樹脂)



作り手  
よし

### 金型メンテナンス布教活動

海外サプライヤーを対象とした品質・生産性向上の「布教活動」として金型メンテナンス作業標準の指導を実施しました。これにより品質の維持向上や生産の効率化に貢献しています。



海外現地での金型メンテナンスの教育風景

売り手  
よし

### 工場内歩車分離による安全な職場環境

工場内の製品運搬に利用していたフォークリフトを廃止し、歩車分離に取り組んでいます。そのため人とフォークリフトが接触するリスクが低減し安全な職場環境が実現しました。



歩車分離による接触リスクの低減

私の  
六方よし宣言

作り手よし

海外拠点へ金型品質の重要性を伝える機会があり、英語の解説動画を提供する事で、理解を深めて頂けました。これらの活動を通じて、今後製品の品質安定に貢献していきます。



シール事業部(樹脂) 田中 大貴さん

## 電子デバイス事業部



作り手  
よし

### 協力工場との共存共栄

お客さまで生産されていたリアクトル\*を当社協力工場のPAE株式会社に移管しました。プロジェクトチームによりスムーズな移管で量産が実現し協力工場との共存共栄関係が構築できました。

※リアクトル：バッテリー電圧を昇圧する部品



協力工場に移管した生産ライン

世間  
よし

### 下條工場40周年記念祭

1985年操業の下條工場は今年40周年を迎えました。地域の方々や行政に支えられた40年の感謝と、さらなる地域社会の発展への貢献を誓う場として記念祭を開催しました。



下條工場40周年記念祭の風景

私の  
六方よし宣言

売り手よし

業務の効率化と品質向上を牽引して業務に取り組んでいます。その中で周囲との円滑なコミュニケーションを大切に、正しく迅速な対応と心がけています。



電子デバイス事業部 熊谷 聖南さん

### 【地域社会の持続可能性への貢献】

当社は、未来を担う青少年の健全育成と伝統文化の保護、伝承を重視した社会貢献活動を推進しています。さまざまな地域イベントに協賛・後援をおこない豊かでサステナブルな未来づくりのため、青少年の健全な育成をサポートしています。



## バドミントンで地域に貢献

1986年に創部した東海興業実業団はバドミントンが盛んな大府市で活躍するとともに、地域の青少年のスポーツ振興に貢献。スポーツの架け橋として活躍しています。

### 》 地域文化交流

大府市と都市間交流を締結している愛媛県新居浜市の小学生を対象に開催されたバドミントン交流会に講師として参加。幅広い地域との育成活動に取り組んでいます。



### 》 ジュニア育成

石川県バドミントン協会からの要請で、地元選手を講師として招いたジュニア育成イベントがありました。当社からも地元選手1名含め4名の選手が参加し幅広い地域で次世代の育成に貢献しています。



**私の  
六方よし宣言**

世間よし

地域の次世代育成に  
参加し、私自身も沢山の  
ハワ-をもらっています。  
バドミントンファンの皆さんに  
これからも楽しんでもらえるよう、  
チーム一丸とアふて  
頑張ります。



シール事業部(樹脂) 中山 うららさん

## 伝統文化の保護、継承

### 》 亀崎潮干祭

亀崎潮干祭は衣浦工場のある半田市亀崎町で行われるお祭りで、300余年の歴史と伝統を守り、2016年にユネスコ無形文化財に登録されました。当社は亀崎潮干祭に協賛し従業員駐車場を無料開放するなど、地域伝統を守る活動に貢献しています。



## モータースポーツへの参加

### 》 ダカールラリー

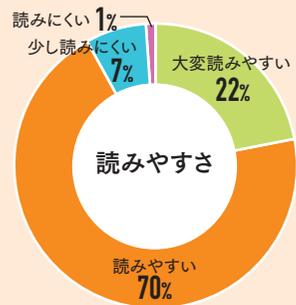
当社は、豊かなスポーツ文化を創造し、心身の健全な発達と社会の発展に貢献するというCSR活動の理念のもと、「Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY(運営トヨタ車体株式会社さま)」を応援しています。2025年大会はサウジアラビアで開催され、市販車部門12連覇を達成しました。



# エンゲージメント

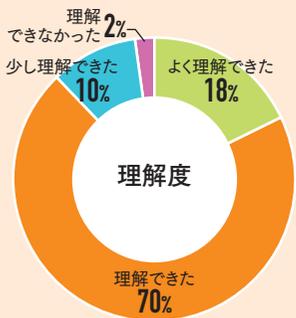
当社では、今後の活動や報告書の改善に役立てるため、サステナビリティレポートの読者の方々に、ご意見・ご要望をいただくアンケートを実施しています。今回はサステナビリティレポート2024について、当社の従業員およびご家族の方を対象にしたアンケート結果を報告します。

## ● サステナビリティレポートについて



### ご意見

写真やイラストもあり、説明が分かり易く内容がしっかり伝わった。



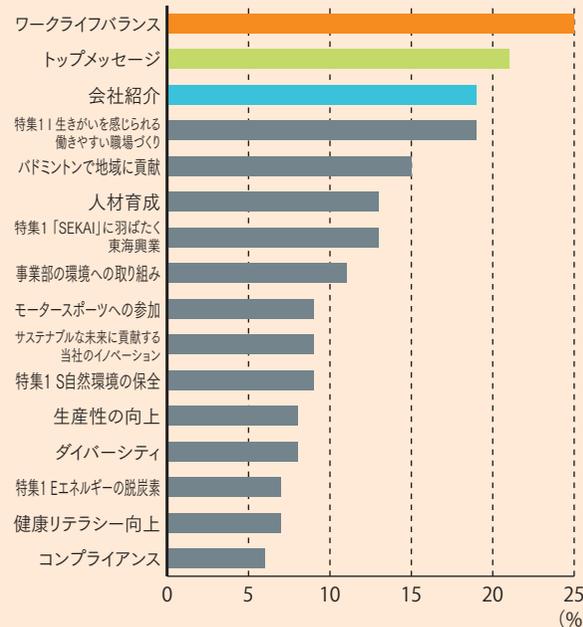
### ご意見

自社のサステナビリティ推進活動内容を知ることができた。

## 2025年度版への反映項目

文字数の適正化、およびグラフ・写真・イラストの多用により読みやすさをさらに追求しました。また、Socialの「健康経営」と「働き方改革」については、当社の取り組みを体系的に整理することで、理解度向上をはかりました。

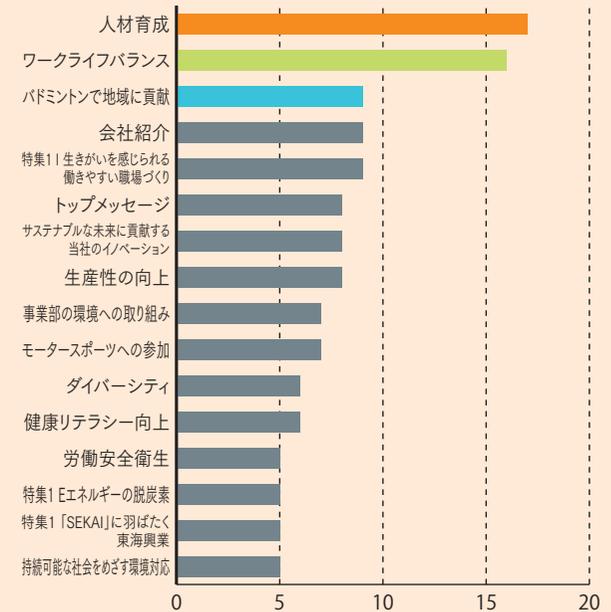
## ● 興味を持った項目について



## 2025年度版への反映項目

アンケートの結果を反映し、ワークライフバランスとして特別有給休暇制度の紹介(P12)と特集3のグループ会社の取り組み(P25)を追加しました。人材育成については安全を支える人材育成(P14)で国家資格取得者データを充実し、安全体感道場でのVR体感機導入(P15)を追加しました。

## ● もっと知りたい項目について



# 東海興業九州株式会社の設立

東海興業九州株式会社



所在地：〒879-0453 大分県宇佐市上田2111番地1



## よい製品を社会の力に たゆまず進化する東海興業 九州へ

樹脂成型の専門メーカーとして、押出成形から加工成形までを一貫とした自動車外装部品・機能部品の生産を行います。九州地区のお客さまへ製品を直納することで、コスト削減・カーボンニュートラル活動に貢献します。地域に密着した形で新たに進出した会社です。

### Message

自動車部品製造、供給のプロフェッショナルとしてのプライドを持ち、「21世紀に飛躍し続ける企業」として九州地区のお客さまの信頼を得られるよう東海興業グループの一員として貢献してまいります。



東海興業九州  
工場長 角藤 利明さん

人と地域と地球のために、九州から持続可能な製造の新しいかたちを。  
責任あるものづくりで、未来へつなぐ。

E  
環境

## カーボンニュートラルへの 貢献



当社の設立により九州地区で生産から納入までを一貫しておこなうサテライト体制を整備しました。これによりリードタイムの短縮と環境負荷低減などの課題解決に貢献、持続可能な供給体制を実現しました。



物流短縮によるCO<sub>2</sub>削減

S  
社会

## 地域雇用貢献



当社は2025年11月現在28名を大分県北部地域から採用しています。今後も地域に根差した採用活動を継続し、安定した雇用を創出することで地域経済の発展に貢献します。



現地採用スタッフたちの集合写真

G  
ガバナンス

## BCP



南海トラフ地震など大規模災害に備え、愛知県での有事の際は当社が樹脂押出製品において東海興業グループのバックアップ生産をおこないます。お客さまへの供給体制の危機に柔軟に対応します。



東海興業衣浦工場と同一のラインで生産活動を実施

## 【環境保護への取り組み】

地球温暖化、自然環境の劣化・減少が加速するなか、当社は脱炭素社会の実現に向け、環境マネジメントシステムを実践し限りある資源の有効活用と環境負荷のミニマム化をめざした事業活動を推進しています。

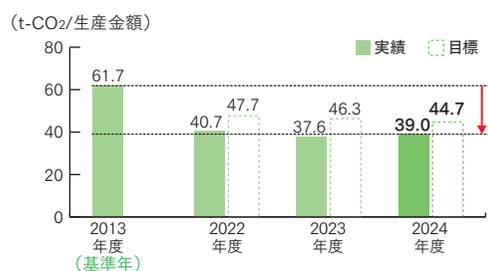


## 環境保護活動

### 地球温暖化対策

当社は、CO<sub>2</sub>排出量削減目標を2013年度比で2030年度46%以上の削減に向け、プロジェクト活動を推進中です。その結果、2024年度は原単位目標44.7に対し実績39.0で2013年度比36.8%減の大幅削減を達成しています。

CO<sub>2</sub>原単位削減率 **36.8%減**  
(2013年度比)

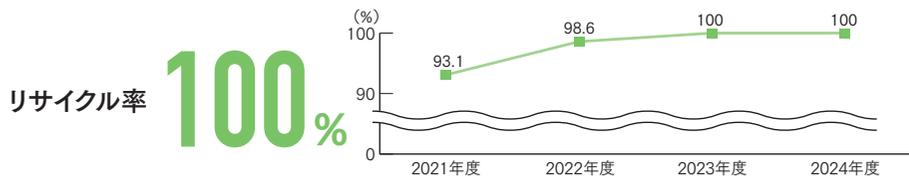


CO<sub>2</sub>排出量 **6.5%減**  
(2013年度比)



### 循環型社会への貢献

当社は、3R(Reduce・Reuse・Recycle)を活動の中心として廃棄物の削減とリサイクルを推進しています。生産時の材料ロス(スクラップ廃棄)の極小化や歩留り向上などの取り組みにより2023年度以降、産業廃棄物の100%リサイクル化を継続しています。

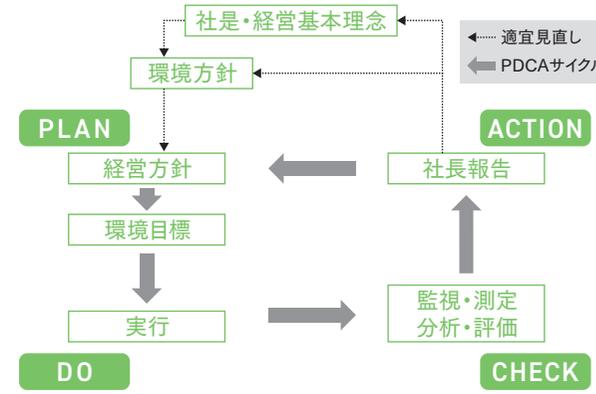


### 環境マネジメントシステム

当社では、すべての拠点で持続可能な循環型社会の実現のためISO14001の認証を取得しています。全工場統一した組織活動と個々の環境意識向上活動を軸に環境負荷低減に取り組んでいます。



環境方針カード



環境マネジメントシステムのPDCAサイクル

### 自然共生社会に寄与

当社は森を守り、海を守る活動を積極的に実施しています。下條工場敷地内の森林を整備する里山保護活動や、高浜工場・高浜第2工場が隣接する矢作川水系の保全を目的とした厳しい協定の遵守など、自然環境の保護を推進しています。



衣浦湾に臨む高浜第2工場



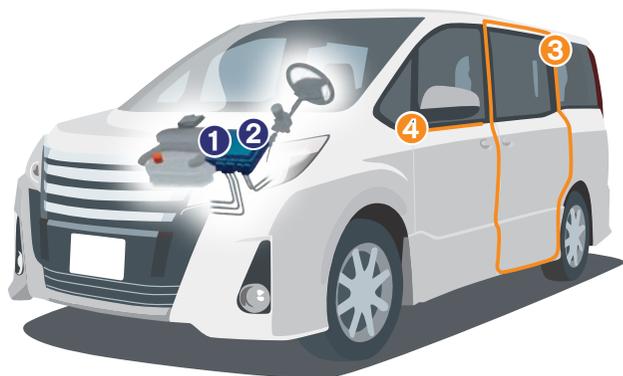
里山保護活動を展開する下條工場

## 【ニーズを先取り、オンリーワン技術で未来のモビリティに貢献】

当社は、次世代モビリティの実現に向け、六方よし経営のひとつ「未来よし」で貢献します。オンリーワン技術による高機能製品をお客さまに供給し、クリーンで快適なモビリティ社会を目指します。



## 次世代に向けたモビリティへの製品提供



### 電動化によるカーボンニュートラルに寄与する製品



HEVの黎明期から電動化に関わってきた当社は、PHEV、FCV、BEVと様々な環境車へCAE解析による最適化や独自成形技術を用いた高品質の製品を供給しています。

また、製造工程においてもCO<sub>2</sub>低減を意識した工法開発を進めており開発から生産までトータルでカーボンニュートラルに貢献しています。

### ①リアクトル: バッテリ電圧を昇圧し、燃費を向上させます

高難易度の部材を世界初の特許工法「TACモールド」で一体成型し、量産することに成功しました。一体成型することでPHEV、HEVなどの燃費向上に貢献しています。更に製造ラインの加熱工程を廃止し、カーボンニュートラルに貢献しています。

### ②バスバー: モーターを駆動させるために大電流を流す配線です

省スペース配線が必要なため、高い製品精度が必要ですが、CAE解析を駆使し高精度製品を量産化しました。バスバーを一体成型することで省スペース化できHEV、PHEV、BEVなどの軽量化に貢献しています。

### 快適空間への挑戦



自動車の電動化が進む中、エンジンノイズに変わり、ロードノイズなどへの対策が移動空間としての次世代モビリティに求められてきます。当社では静粛性や新たな環境課題も取り込んだ次世代モビリティへの開発にチャレンジしています。

### ③ドアオープニングシール: 静粛性にこだわり、部品の発するわずかな音まで消音

ドアと接触しているシール部品は、走行時の車体振動等によるドアとの擦れ異音が課題でした。当社はシール用シリコーンを新開発し、ドア接触部に塗布することで消音/高耐久を実現、快適な車内空間に貢献しています。

### ④インナーウェザーストリップ: 環境に配慮し、材料ロスを最大限抑えて生産

生産立ち上げ時などに排出される樹脂を自社粉砕し、リサイクル材料として原材料の一部に採用しています。新たな環境課題へ積極的に対応しつつ、機能性を確保した次世代モビリティへの部品を提供しています。

#### 私の六方よし宣言

未来よし

自動車の電動化などが進む中で、ウェザーストリップにもより高い性能が求められています。未来のモビリティ社会に貢献できるよう、日々の製品開発に取り組んでいます。



設計部 丹後 友博さん

# グループ企業のサステナブル経営

当社は、TKG(東海興業グループ10社)全体でモビリティサプライヤーのリーディングカンパニーを目指しています。グループ会社も当社と同じく社会・環境・ガバナンスを柱にサステナブル経営を推進しています。



## S 社会 ワークライフバランス



### ● 全社平均残業時間

勤怠管理システムを導入し労働時間の見える化を実施。管理者が常に適正な労働時間を把握することで業務の平準化を行い、ワークライフバランスを推進できる環境づくりを行っています。

**22.5時間/月**

(2024年度)



### ● 全社平均有給休暇取得日数

社員の心身の健康維持を目的として、計画的な休暇取得の環境づくりを整備しています。安全衛生委員会で取得状況報告を行うなど休暇を取得しやすいよう働きかけを行っています。

**15.0日/年**

(2024年度)



### ● 全社平均残業時間

自社開発した勤怠管理システムを運用し、急な生産変動でも従業員の負担なく柔軟な対応ができています。働き方改革は従業員アンケートの結果からテーマをあげて推進しています。

**31.5時間/月**

(2024年度)



### ● 全社平均有給休暇取得日数

計画的に有休を取得できる勤怠管理システムを導入しました。これにより、有休取得率を可視化し従業員の希望に応じた有休取得ができる環境づくりをしています。

**12.8日/年**

(2024年度)



E 環境 地球温暖化対策

●CO<sub>2</sub>削減

照明のLED化、電動フォークリフトへの切替も完了しCO<sub>2</sub>排出削減の成果が出ています。今後はDXによるシステム導入でペーパーレスなどさらなる省エネ活動を推進していきます。



●サーキュラーエコノミー

ゴム廃材を細かく破碎して人工芝の補填材や陸上競技トラック下地等、新たな製品の材料として有効活用することで廃棄物削減と持続可能な社会づくりに貢献しています。



ゴム廃材を利用した競技トラック

●CO<sub>2</sub>削減

2024年に続きSOSEI工法による屋根の断熱コーティングエリアを拡大し、電力を使わず工場内の気温を5℃下げることができました。カーボンニュートラル会議では常に新しい情報に着目し、積極的に取り組んでいます。



●サーキュラーエコノミー

材質が異なる樹脂を組み合わせた自動車部品の廃材を、100%再利用した製品開発に成功しました。サーキュラーエコノミーを通じて、次世代モビリティの開発に貢献していきます。



G ガバナンス リスクマネジメント

●情報セキュリティ

サイバー攻撃に備え、情報管理システムの強化を実施しています。また、ランサムウェアなどの脅威に対し従業員への教育や訓練もレベルを上げて実施し対応力強化に努めています。

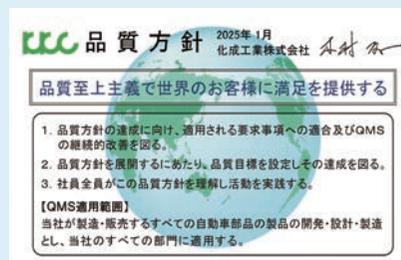
自動車産業\*  
セキュリティチェックシート  
(LV1+2)



※自動車産業全体でサイバーセキュリティリスクに対処することを目的に策定された自己評価制度

●品質至上主義

品質方針カードを作成し、ステークホルダーへの情報開示を行っています。「品質至上主義」の方針をすべての従業員が理解し実践することでお客さま満足度向上を推進しています。



品質方針カード

●情報セキュリティ

情報漏えいのリスクが高まっている中、情報セキュリティの社内教育や標準型メール訓練、サイバーセキュリティセミナーなど組織全体で意識向上を図っています。

自動車産業  
セキュリティチェックシート  
(LV1+2)



●ISOマネジメントシステム

当社は品質と環境の国際標準の認証(ISO)を取得しています。PDCAサイクルをスパイラルアップさせ、毎年レベルアップをはかり、ステークホルダーに求められ続ける企業を目指しています。



ISO9001/14001登録証

## 【サステナブル企業づくりにおける責任】

企業のコンプライアンス遵守がより一層求められている昨今、当社では従業員が自主性をもってコンプライアンスを守る風土を醸成させるため、法令遵守にとどまらず一歩踏み込んだ活動を推進しています。

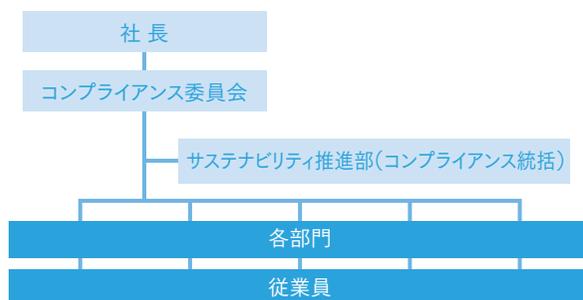


## コンプライアンス ▶▶▶ 法令遵守、企業倫理、モラル向上などあらゆる活動を推進



### 》》 コンプライアンス推進体制

当社は従業員のコンプライアンス遵守のため、各部門からなる委員会を設置しています。サステナビリティ推進部が、関連するコンプライアンスの規定、教育、監査を運営実施しています。



### 》》 倫理行動の周知徹底

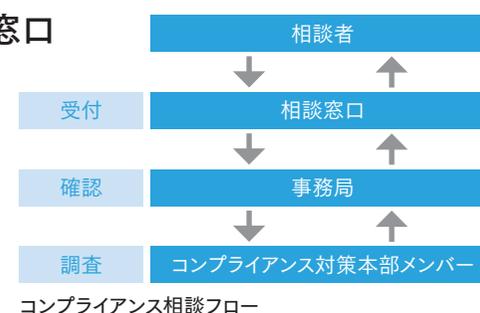
従業員の倫理的かつ規律ある行動推進のため、社会的良識に合った行動規範を網羅した「東海興業倫理行動規範ハンドブック」を配布し、常に携帯することで、倫理行動の浸透を促しています。



倫理行動規範ハンドブック

### 》》 コンプライアンス相談窓口

当社は各部門からなるコンプライアンス委員会を設置し運営するとともに、業務上のコンプライアンス対応に関する従業員からの相談のため、公益通報者保護法を遵守した社内・社外コンプライアンス相談窓口を設置しています。



コンプライアンス相談フロー

### 》》 従業員のリテラシー向上

全従業員を対象としたCSR教育を年2回実施しています。2014年から開始し、今年で11年継続しており、年々多様化する新たなテーマについても時流にあわせ教育コンテンツの充実化をはかっています。

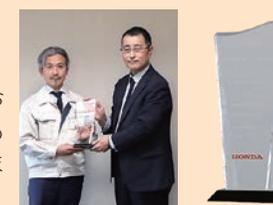


CSR教育資料

### Topics

#### Honda Supplier Award 2025受賞 優良感謝賞 サステナビリティ部門

300社を超えるサプライヤーの中からESGの各領域における取り組みが高く評価されたサプライヤーに贈られるもので、2025年4月17日、大府本社にて本田技研工業さまよりトロフィーの贈呈が行われました。



## 品質至上主義



六方よし経営の「買い手よし」の実現に向け徹底した品質管理により、お客さまとの強固な信頼関係を構築

### 品質コンプライアンスの遵守

当社は「品質至上主義」を品質方針とし、すべての従業員が品質方針を理解し実践することでお客さまに満足を提供、すなわち「買い手よし」の構築を推進しています。



品質方針カード

### 品質マネジメントシステム

当社は2003年にISO9001取得以降、品質マネジメントシステムのスパイラルアップを推進しています。2024年11月には、自動車産業に関する国際規格IATF16949を全工場で認証取得しました。



IATF登録証

### 品質管理教育

当社では品質の階層別教育を新入社員、若手社員、技術系中堅社員へ行っています。特に技術部門はSQC\*専門コンサルタントを招聘し、改善指導会を実施しています。

※ SQC(統計的品質管理): 製造過程や製品の品質を、統計的手法を用いて管理や改善をする手法の総称



SQC改善指導の成果発表会

私の  
六方よし宣言

買い手よし

お客さまから品質トピックの連絡を受けた際に、その原因究明と再発防止に努めます。「品質第一」の姿勢を大切に、製品の信頼性を支える一員として日々業務に取り組んでいます。



品質保証部 長峰 善さん

## リスクマネジメント



あらゆるリスクを予防、事業の継続と安定的発展を確保

### 大規模自然災害

大規模地震やスーパー台風などの自然災害に備え、①人命第一 ②生産復旧 ③地域支援の3つの柱を基本方針とした事業継続計画を策定し大規模災害を想定した初動訓練を実施しています。



初動訓練(安否確認)風景

### 防火

火災はサプライチェーン全体へ影響を及ぼす重大リスクと捉え、法令点検、自主点検等の未然防止活動の他、消防署との合同訓練や初期消火競技会に参加、有事に備えた活動も積極的に実施しています。



消防署との合同訓練

### 情報セキュリティ

事業活動に関わる情報資産を重要な資産と位置づけ、機密保護に取り組んでいます。高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対し、ハード対策と規定運用強化の両輪で活動を推進しています。

自動車産業  
セキュリティチェックシート

100%<sup>(Lv1・Lv2)</sup>達成

# SDGsと六方よし

SDGs	六方よし	当社の取り組み	ページ
「健康経営」と「働き方改革」で 〈創造的な組織〉を実現 	売り手よし	ワークライフバランス	12
		健康リテラシー向上	13
		生産性向上	
		ワークエンゲージメント	
		人材育成	14
		ダイバーシティ	
労働安全衛生	15		
サステナブルなものづくりと調達活動 	作り手よし	サプライチェーン	16
事業部の六方よしへの取り組み 	売り手よし、買い手よし、 世間よし、作り手よし、 地球よし、未来よし	事業部の六方よしへの取り組み	17、18
文化・スポーツを通じた社会貢献 	世間よし	バドミントンで地域に貢献 伝統文化の保護、継承 モータースポーツへの参加	19
持続可能な社会をめざす環境対応 	地球よし	環境保護活動	23
サステナブルな未来に貢献する当社のイノベーション 	未来よし	次世代に向けたモビリティへの製品提供	24
持続可能な企業づくりを推進 	買い手よし	コンプライアンス 品質至上主義 リスクマネジメント	27、28

# ガイドライン

## 東海興業のCSR

### ISO26000

当社では、「ISO26000」の中核主題をガイドとしながら、本業を通じてステークホルダーの期待に応える活動を推進しています。



#### 組織統治

基本理念である「新しい価値を創造して、お客様の信頼・社会への貢献・従業員の幸せ確保を果たす」に基づき、健全かつ公平な経営体制のもと、法令遵守・企業倫理・モラル向上を柱としたコンプライアンスとリスクマネジメントを構築し、迅速かつ適切な情報開示につとめます。

#### 人権

国内外を問わず人権と尊厳を尊重し、いかなる差別やハラスメントも許さず、多様な価値観を共有し組織の活性化を基本方針とします。

#### 労働慣行

働きがいを感じられる職場環境を提供し活力のある風土を醸成させます。健康経営を取り組みの柱とし従業員の心身のゆとり、豊かさ、学びの機会、安全安心な職場づくりを基本方針とします。

#### 環境

持続可能な社会、環境の実現のため環境保護への取り組みが重要であると考えます。当社は環境マネジメントシステムISO14001に沿った活動に加え2050年のカーボンニュートラル達成に向けたロードマップを策定し脱炭素社会に貢献します。

#### 公正な事業慣行

ステークホルダーに対しあらゆる法令および社会ルールの遵守をお約束します。

#### 消費者課題

次世代に向けたモビリティ社会に貢献すべく材料から製品企画、製造を一貫して社内で管理し高品質な製品を提供することを基本方針とします。

#### コミュニティ参画

当社はバドミントン実業団チームを通じて青少年健全育成や、ダカールラリーへの参画でモータースポーツの発展に寄与することでスポーツ・文化を通じた社会貢献につとめます。

# 東海興業株式会社

〒474-8688 愛知県大府市長根町四丁目1番地  
TEL 0562-44-1500 FAX 0562-44-1590  
<https://www.tokaikogyo.co.jp/>



印刷インキには、生分解性に優れ、VOC(揮発性有機化合物)が少なく、環境に優しい原材料である「植物油インキ」を使用しています。

